



(公財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター

世界のみどりのまちづくりムーブメント

第1回 「ニュージーランドの生物多様性をめざすまちづくり」

林 まゆみ：淡路景観園芸学校 主任景観園芸専門員

ニュージーランドは、地球儀を回すと日本の反対側、つまり南半球にある美しい景観のまち、そしてガーデニングの盛んな国です。日本と同じような気候風土の小さな国です。でも、美しい景観や環境、そして花や緑に対する想いは、桁外れ!!

この国に行かれた方は経験されたと思いますが、住宅地のどの通りを歩いても、バラづくりや庭仕事をしている人々がいたり、まちなみそのものが美しいガーデンのように整備されています。



クライストチャーチ市のガーデンコンテストで入賞した住宅

南島にあるクライストチャーチ市では、100年以上の歴史を持つ「クライストチャーチ美化協会」という市民グループがまちのガーデンコンテストを行っており、美しい庭や通りを表彰しています。

でも、そのニュージーランドも、ここ10数年は少し違うムーブメントがおこっています。英国風の華やかなガーデンづくりとは趣向の違う、より地域に古くからある在来の植物を活用した庭づくりの潮流です。いわゆる自生種を活用するデザイナーたちも台頭し、「土地の記憶を大切に、その土地の歴史を知ったり、地質を調べたりしながら、庭づくりをしています」と語っています。彼らのデザインは現代のニュージーランドのまちづくりに大きな影響を与えています。



オープンガーデンを開催している個人の庭園

翻って日本でも地域に馴染んだ植物の活用が語られるようになってきました。昔、野原や山にふつうにみられたものがほとんど絶滅しかかっている例もあれば、もともとはなかった植物がいつのまにか他の植物を駆逐して広がり続けている例もあります。もう一度、私たちの身の回りの植物の由来や環境との関わりをぜひ見直していきたいものですね。



ニュージーランドの自生植物を用いた公園（首都ウエリントン）

(参考：林まゆみ「ニュージーランドの生物多様性をめざすまちづくり」(学芸出版社))



ガーデンクラブの紹介

祝!全国花のまちづくりコンクール大賞・国土交通大臣賞受賞 キッピーグリーンクラブ(三田市)

代表 岡田 一二美

発足の経緯

近年三田駅周辺の再開発、主要道路の整備が進み、平成17年には「ふれあい大通り」が完成し、三田市は大きくイメージチェンジしました。「三田のメインストリートや周辺の広場を花と緑で飾ろう」との思いから、その年3月にキッピーグリーンクラブを結成いたしました。



ウエストサイド広場でのバラの手入れ風景(2月の作業)



ふれあい大通りの97個の立体ポットへの水遣り自転車隊

活動内容

現在三田駅周辺の3つの主要道路1.9kmと、隣接する4つの公共広場計891㎡で、花と緑のあるまちづくりを目指して、植栽活動を続けています。会員は20人で、それぞれの特技を生かしながら結束を図っています。自発的なボランティア活動で、花まちづくりに微力ながらも貢献出来ることを生きがいに行っているグループです。草取りや水やりの日常作業などで、流した汗の分だけまちがきれいになり、仲間との信頼の絆が強まると信じながら活動しています。

兵庫県の県民まちなみ緑化事業及び三田市の活動支援事業などの助成制度をうまく活用し、1年で花壇面積は2.4倍に拡大しました。行政の色々な協力には大変感謝しています。これからも花まちづくりへの情熱とボランティア精神で、当局の援助を引き出す環境づくりをしていきたいと考えています。その他地元の大学とのコラボや小学校・幼稚園への植栽指導を実施し



満開になった立体ポット(ふれあい大通り郷の音ホール付近)

ています。花の苗は会員が持ち寄るなどして極力ローコスト・ローメンテナンスに努め、手づくりの活動を展開しています。

全国花のまちづくりコンクールで大賞を受賞

2009年、第19回全国花のまちづくりコンクール優秀賞を受賞し、続いて2011年、第21回全国花のまちづくりコンクール大賞・国土交通大臣賞を受賞いたしました。表彰式は東京法曹会館で行われました。事例発表では、スライドを使って私たちの花まちづくりの現状と作業風景を紹介しました。今回の受賞はまさに「驚きと感動」でした。審査員からは「等身大の努力と自発的ボランティアの花で街を彩る」という高い評価をいただきました。

今後の展開

今回の受賞をスタートとして、さらに色々と工夫を重ねながら、他のグループとの情報交換や、連携を深め、地道な活動を継続したいと思います。



◀表彰式風景
岡田代表への
表彰状授与



市役所横▶
「ウエストサイド
広場」のバラの花

県民まちなみ緑化事業で、 こんなに美しく生まれ変わりました!!

まちなかを彩る花や緑は、私たちの暮らしに潤いとやすらぎを与えてくれるとともに、美しい景観形成や安全で快適なまちづくりに大きな役割を果たしています。

兵庫県では、こうした緑の保全・再生を社会全体で支え、県民総参加で取り組む仕組みとして、平成18年に県民緑税を導入し、この税を財源として、県民まちなみ緑化事業を展開し、植樹や芝生化などの緑化活動に対して必要となる苗木や肥料などの緑化資材を補助し、県民の皆さんには、樹木の植栽や芝張り、その後の維持管理を行っていただいています。次に県民まちなみ緑化事業を活用して取り組んだ事例を紹介します。

なお、県民まちなみ緑化事業は現在も募集しています。問い合わせ先等は末尾に記載していますので、参考にしてください。

一般緑化(植栽、生垣、修景)

広場、公園、道路、河川沿い、学校等の植樹
戸建て住宅、マンション等の生け垣の設置
土石採取跡地、廃自動車置き場等の修景緑化

道路沿いの植栽 < 尼崎市 >



< 実施前 >



< 実施後 >

かつて防潮堤を兼ねていた無機質なコンクリート塀が緑の生け垣に様変わりして、潤いのある癒やし空間が誕生しました。

川沿い歩道の植栽 < 宝塚市 >



< 実施前 >



< 実施後 >

近隣住民が行き交う遊歩道沿いが色鮮やかに植栽され、散歩の楽しみが増えました。

(4) センターだよ

事業所玄関前の植栽 <伊丹市>



<実施前>



<実施後>

事業所玄関前が色彩豊かな憩いのスペースになり、事業所職員や道行く人の目を楽しませています。

校庭、ひろばの芝生化

学校、幼稚園、保育園の校庭、公園、広場、グラウンド等の芝生化

校庭の芝生化 <宝塚市>



<生徒による芝生の植え付け作業風景>



<実施後>

ほこりを防ぐと共に、生徒への情操教育や温暖化防止にも貢献しています。

校庭の芝生化 <多可町>



<鳥取方式での芝生植え付け作業風景>



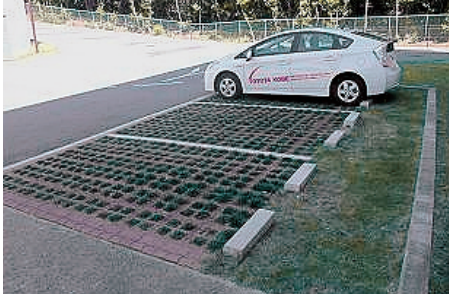
<実施後>

生徒たちが教師と一緒に作業に参加することで、グラウンドに愛着がわいたようです。よく外で遊ぶようになり、体力が向上し、性格も明るくなりました。

駐車場の芝生化

商業施設、工場、マンション、事務所、公民館等の駐車場や月極駐車場の芝生化

学校内駐車場<神戸市>



全体均一補強型で、タマリユウと芝生がよく生育し、玄関口が美しくなり、来客者に清涼感を与えています。

工場内駐車場<三木市>



奇数日と偶数日で、駐車場所を変えることによって芝の傷みを押さえ、景観を保っています。

病院内駐車場<播磨町>



来院患者用駐車場が芝生化されて景観が美しくなり、気持ちが和んできます。

建築物の屋上緑化・壁面緑化

商業施設、幼稚園、病院、マンション、工場等の屋上緑化(芝生・植樹)または壁面緑化

病院の屋上緑化<高砂市>



完成した屋上庭園を「ほっこり庭園」と名付け、患者及び来院者の癒しの空間として活用しています。

ショッピングモールの壁面緑化<神戸市>



ツル植物、ハーデンベルギアを5か所40本植え、下は自己負担でヘデラを植えています。見た目がさわやかで、壁面の内側が涼しくなりました。

県民まちなみ緑化事業の募集について

募集期間：～平成24年11月30日(金)まで

一般緑化、校園庭・ひろばの芝生化

事業についての問い合わせは下記の土木事務所へ

県民局	担当課	TEL番号	県民局	担当課	TEL番号
神戸	神戸土木事務所 まちづくり課	078-737-2192	中播磨	姫路土木事務所 まちづくり建築課	079-281-9313
阪神南	西宮土木事務所 まちづくり建築課	0798-39-1546	西播磨	光都土木事務所 まちづくり建築課	0791-58-2256
阪神北	宝塚土木事務所 まちづくり建築課	0797-83-3191	但馬	豊岡土木事務所 まちづくり建築第1課	0796-26-3756
東播磨	加古川土木事務所 まちづくり建築課	079-421-9064	丹波	丹波土木事務所 まちづくり建築課	0795-73-3863
北播磨	加東土木事務所 まちづくり建築課	0795-42-6176	淡路	洲本土木事務所 まちづくり建築課	0799-26-3213

駐車場の芝生化、建築物の屋上緑化・壁面緑化

事業についての問い合わせは下記へ

兵庫県県土整備部まちづくり局都市政策課緑化政策係 TEL.078-362-3563

グリーンメッセージ

「種まく旅人」～地方再生応援歌～

花と緑のまちづくりセンター長
(国営明石海峡公園センター長)

石原 憲一郎

「おおらかな人間模様に笑い、美しい夕日に涙を流し、鑑賞後はふと自分の足元を見つめ直したくなる。そして、あなたを元気にしてくれるオーガニック・シネマの誕生です！」

これは、最近全国の映画館で上映された映画「種まく旅人」の宣伝文句です。

この映画は、地方都市や中山間地域で頑張っている全国の第一次産業従事者や地域を応援しつつ、これからの時代に必要な「新しい価値観や生き方」を見つける「元気再生」をテーマにしたものです。

筆者は早速、神戸市内の映画館で、大分県臼杵市にある有機茶園を舞台に繰り広げられる人間模様を描いた第一作「みのりの茶」を鑑賞してきました。

全国各地の農家を訪ね歩いて作業を手伝い、農家や地域の皆さんと酒を酌み交わす男・大宮金次郎（実は、農林水産省のキャリア官僚で官房企画官）が、有機農業や後継者問題などで困っている現状を、さも水戸黄門のように解決していくところが見せ場ですが、この映画を通して、農業や地域を取り巻く環境の厳しさの半面、地方都市ならではの心温まる人間関係や地域の絆が描かれ、この映画を通して、豊かな生き方とは何かなど、いろいろ考えさせられました。

第二作は、なんと、淡路島を舞台とした作品のようです。現在、秋の公開に向けてロケ中とか。淡路島は、豊かな自然資源を持つ島であることから、古代より御食国（みけつくに）と呼ばれ、皇室や朝廷に贄（にえ）を貢いでいたとされる尊い島で、農業、漁業など第一次産業の盛んなところとして知られています。恐らく、魚介類や海苔などの海産物、タマネギやレタスなどの農産物、そしてそれらを豊かに育む美しい淡路島の自然が、素晴らしい風景とともに映像になって大きなスクリーンで見られると思うと、話の展開もさることながら、今からドキドキいたします。先般、撮影所の幹部が筆者を訪

ねてこれ、大筋のストーリー展開をお聞きしたところですが、それは、映画を見てのお楽しみです。

「花とミルクとオレンジの島」、「淡路公園島」、「環境未来立島」など、時代と共に淡路島の将来像も変化してきましたが、人口減に悩む淡路島が、この映画で元気再生することを願うと共に、古事記編纂1300年の記念の年に、全国の皆さんが淡路島を注視し、来島してくれることを願っています。



(参考)

映画の主な配役

大宮金次郎・・・陣内孝則

マドンナ役・・・第一作 田中麗奈

(今後、寅さんシリーズのように女優は交代)

その他・・・第一作 柄本明ほか

ほっと

相談員ニュース

緑の相談員 若松 康史

梅雨明けから再び夏にきれいに咲かせるペチュニアの切り戻し

近畿地方もほぼ平年並みの6月8日頃に梅雨入りし、私たち同様、草花にとっても過ごしにくい時期となりました。ニチニチソウと共に人気のあるペチュニアは初夏から秋まで花を咲かせ続ける草花ですが、梅雨の長雨が続くと咲き終わった花が水を含んで葉につき、そこから病気が発生して株全体が傷むことがよくあります。咲き終わった花をこまめに摘みとることが、次々と花を美しく咲かせるために大切な作業です。

梅雨期間中は雨のかかりにくい軒下で管理するのが一番ですが、雨除けができない場所では切り戻しを行うと株が清潔に保たれ、梅雨明けから再びきれいな花を咲かせることができます。時期としては雨の日が続くようになる6月下旬から7月中旬にかけて行います。4月頃に苗を植え付けて、花を咲かせ続けているペチュニアも、この頃になると茎が長く伸びて株の外側だけに花を咲かせるようになり、見た目も悪くなります。

切り戻しの方法は鉢の直径あるいは株の直径の半分を目安に、枝をぱっさりと切り落とします。切り戻しの際、株もとには多くの枯れた葉が付いていますが、これらも丁寧に取り除いて下さい。ペチュニアは花を次々と咲かせるのに伴い、葉もどんどんでてきます。咲き終わった花は株の上にあるため摘みやすいのですが、葉は株の内側から枯れてくるためなかなか取り除くのが面倒です。切り戻しの際に黄色くなった葉も取り除き、株を清潔に保っておきましょう。切り戻し後に発生した新枝の上でもう一度切り直しておくことで株の姿が整います。品種にもよりますが、切り戻し後2週間位で花が咲き始めます。なお、猛暑期となる8月は株の勢いが弱くなり、9月に入ると日が短くなって花芽が付きにくくなるので、梅雨明け後に切り戻しを行う場合は弱めに行うようにして下さい。



葉に付いた花がら



切り戻し前の株



切り戻し後の株



切り戻し2週間後



外側はきれいでも株の内側は枯れ葉が多く残っており、株が傷む原因となる。

園芸相談コーナー

10:00 ~ 16:00

火曜日を除く毎日

Tel 078(918)2405

Fax 078(919)5186

写真や実物をご持参いただきますと、
お話ししやすくなります。

県下の公園紹介

第13回☆☆☆明石公園

兵庫県立明石公園はJR明石駅すぐ北側という市街地にありながら、多くの樹木や植物が繁茂する野趣豊かな都市公園です。

明治16年5月、六甲山系の西端、赤松山台地に残る明石城跡に当時の明石郡内の有志により公園として開園され、大正7年4月には、新たに県立公園として発足しました。

54.8haもある広大な園内は変化に富んだ丘や池があり、堀は周辺の自然環境と調和して美しく、春は桜、初夏は新緑、秋は紅葉を楽しむことができ、平成元年には「日本の都市公園100選」に、平成2年には、全国「さくら名所100選の地」に選ばれています。

明石城本丸跡には国の重要文化財に指定されている異櫓(たつみやぐら)、坤櫓(ひつじさるやぐら)があり、春と秋には毎週土・日曜・祝日の午前10時～午後4時、どちらか一方の1階部分を一般公開しています。

また、園内には野球場、陸上競技場、テニスコート、弓道場、自転車競技場、ローンボウルスコートなど各種運動施設が整い、芝生広場や子ども広場、また県立及び明石市立図書館や県立高校野外活動センターなどもあります。さらに平成16年には「明石城武蔵の庭園」も完成しました。

利便性を活かして「ひょうごまちなみガーデンショー」や「明石公園菊花展覧会」等各種イベントも開催され、年間260万の人が訪れ、県民の憩いの場になっています。



坤櫓



剛ノ池とサクラ



芝生広場



明石城武蔵の庭園

お問い合わせ 公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会 〒673-0847 明石市明石公園1-27 TEL.078 - 912 - 7600

県下の相談所紹介

第5回☆☆☆明石市立花と緑の学習園

明石市立花と緑の学習園は、西明石にある上ヶ池公園内（JR西明石駅から徒歩8分）にあります。

平成2年4月に市民の皆さんが緑に関心をもち、学ぶことができるようつくられました。

花と緑に関する「緑化相談」をはじめ、花木、野菜、寄せ植え、子ども教室など様々なテーマで年間38回「園芸講習会」を実施。また園芸愛好家団体の皆さんと山野草・小品盆栽の展示会を開催しています。さらに「花壇コンクール事業」「明石公園菊花展覧会」などの緑化推進事業も行っています。

敷地の面積は約2,500㎡。建物の他に、緑化に役立ててもらえるよう、見本園（花木の山、多様な花壇、生垣見本、山野草・ハーブ・薬草のコーナーなど）を設けています。

四季折々楽しめますので是非ご来園ください。



山野草コーナー



寄せ植え講習会風景



学習園建物

お問い合わせ 花と緑の学習園

〒673-0005 明石市小久保1丁目10-3 TEL:078 - 924 - 6111

開館・相談時間 9時～17時 毎週月曜、第3火曜休館

花と緑のまちづくりセンターだより 21号

平成24年7月1日（年4回発行）

編集発行 公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会理事兼花と緑のまちづくりセンター長 石原 憲一郎

〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター

TEL: 078(918)2405 FAX: 078(919)5186 Eメール: info_midori@hyogopark.com